

【オリコンサルHD 上期決算 売上高 利益 とともに過去最高 下期の大型受注見込む】

売上高 利益 とともに過去最高

下期の大型受注見込む

オリコンサルHD 上期決算

オリエンタルコンサルタンツホールディングスの2022年9月期第2四半期決算

は、連結の売上高と各利益とも過去最高を更新した。受注高は前期に大型案件の受注があった海外の反動減で前年同期を下回ったが、下期に大型受注が見込まれるとして通期では前期を上回る受注高を確保する見通しだ。30日の決算説明会で野崎秀則社長が明らかにした。

今第2四半期の連結受注高は、防災・減災関連業務や維持管理業務などが堅調に推移した国内が前期比6・4%増の225億0700万円だったが、海外は28・6%減の116億6200万円となり、合計では8・9%減の341億6900万円となった。受注残高は収益認識会計基準の適用により、前期末に進捗中

の案件の一部134億円が売上がったため、8・6%減少し、1406億2000万円となったが、特に海外は1000億円超と依然高い水準にあり、中期的に安定した売上高確保に寄与する。

22年9月期の連結業績は、売上高が国内、海外ともに前期実績を上回る過去最高の700億円を見込み、現行の25年ビジョン・中期経営計画の目標年となる25年9月期での売上高800億円、営業利益40億円達成に向けて着実に歩を進める。さらなる成長へ、30年に向けたビジョン・中期経営計画策定作業も今後本格化し、22年内での公表を予定している。